

KIT虎ノ門大学院 学習支援計画書(シラバス)

※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先: 虎ノ門事務室 [メールまたは電話])
 ※ 授業中の食事は控えてください。携帯電話はマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科目名		科目コード	単位数	開講期
特許出願・審査特論		Z 314	2 単位	1 学期
Patent Application and Examination				
科目分野		課程領域		
産業財産権		知的財産マネジメント専門科目		
担当教員名	メールアドレス	連絡方法 / オフィスアワー		
酒井 宏明	-	メールアポイントにて随時		

関連している科目(履修推奨科目)

特許・実用新案法特論 1、2	特許・実用新案法応用特論	特許審判特論
----------------	--------------	--------

授業の概要と到達目標

授業の主題と概要

特許法は手続法と実体法が混在しており、単に法令のみの学習でその法令全体の詳細を正確かつ具体的に把握することは困難である。そこで、本講義においては、特にその法令の手続に関する部分を中心として、詳細を説明し、正しい解釈を身につけて理解を深めることを目的とする。

特許・実用新案法に関して、特に国内特許の権利化に関連する事項について専門的な事項を修得する。
 具体的には、(1) 発明発掘、先行技術調査にはじまり、特許出願明細書の意義、具体的な明細書作成方法、請求の範囲の解釈、作成等(2) 審査段階の拒絶理由に対する対応(補正・意見書)、補正に関する注意事項等に関して、法令の具体的な運用、実務的な観点からの特定テーマに関する講義とそれに関する演習等を通して、法令について理解を深める講義である。

到達(修得)目標

特許・実用新案法に関して、特に国内特許の権利化に関連する事項について専門的な事項を修得する。

受講対象者

弁理士・弁護士、企業の知財担当者、特許事務所のスタッフ、およびこれらを目指す者

履修上の注意事項やアドバイス

※ 欠席が、4コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位取得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。

※ 担当する教員は実務家教員とする。

※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

コンピテンシ修得目標

知識領域 (Y軸)		ヒューマンパワー (Z軸)		思考プロセス (X軸)	
Y1: 基盤法令・テクノロジー	○	Z1: 問題発見力		X1: 企画	
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー	○	Z2: 独創力	○	X2: 構想	○
Y3: グローバル法令・実務		Z3: 問題解決力	○	X3: 調査・分析	○
Y4: マネジメント		Z4: プレゼンテーション力		X4: 設計・開発	
Y5: 戦略立案		Z5: 変革推進力		X5: 変革	
Y6: 標準化		Z6: コミュニケーション力	○	X6: 導入・運用	
		Z7: リーダーシップ力		X7: 評価・検証	
		Z8: ネゴシエーション力		X8: リーガルマインド	
		Z9: オーナーシップ力		X9: ライフサイクル	

ブラクティカム

イベント / ケース	教育技法	マテリアル / ツール
1	講義方式	

評価の方法

(総合評価項目と割合)		評価の要点
出席・受講態度	10%	毎回、事務室より出席簿を準備する。学習プロセス及び課題レポートにより、授業内の理解度を確認する。期末試験により、総合的な理解度の確認を行う。
学習プロセス・課題レポート	40%	
期末テスト	50%	
合計	100%	

テキスト・参考図書など		備考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合がございますので予めご了承ください		
テキスト (購入が必要)	授業用資料を適宜配布 ・特許庁編・工業所有権法逐条解説(発明協会) (以下「青本」と記載。) ・特許法令集	講義資料を毎回配布するので、A4の2穴ファイルを準備してファイルすること。 適宜特許法の条文を確認できるように法令集の持参は当然である。
参考図書 (購入は任意・講師推奨)	特許庁編工業所有権法(産業財産権法)の解説 特許庁・審査基準(特許庁ホームページ) 中山信弘・特許法[第4版](弘文堂) 新・注解特許法[第2版](青林書院)	
適宜紹介予定		

コマ	学習内容	事前準備・課題	担当者	時間
1.2	・イントロダクション ・発明発掘	指示された範囲の予習	酒井	180分
	・先行技術の調査			
イベント	【課題】発明発掘			
3.4	・先行技術の調査	指示された範囲の予習	酒井	180分
	・出願書類と記載要件			
イベント	【課題】先行技術の調査			
5.6	・特許請求の範囲概論	指示された範囲の予習	酒井	180分
	・特許請求の範囲の形式			
イベント				
7.8	・独立項と従属項	指示された範囲の予習	酒井	180分
	・クレームドラフティング(演習)/特許請求の範囲の作成			
イベント				
9.10	・明細書の作成	指示された範囲の予習	酒井	180分
	・明細書の作成			
イベント	【課題】明細書の作成			
11.12	・早期審査/拒絶理由通知/補正	指示された範囲の予習	酒井	180分
	・補正/拒絶理由対応			
イベント				
13.14	・拒絶理由対応	指示された範囲の予習	酒井	180分
	・拒絶理由対応			
イベント				
15.16	・拒絶理由対応/審査官面接/国内優先と分割	指示された範囲の予習	酒井	180分
	期末テスト			
イベント				

※ 講義日程は、学事ポータルの講義日程表をご参照ください。
 ※ 学習内容やスケジュールは、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。
 ※ 講義収録は、特別講師を招く場合など、内容によっては収録できない場合があります。